

FURUTECH

Review

Audio Accessory

2011 SPRING 140 - Japan



電源ラインフィルター AC Line Filter

FURUTECH Flow-28

¥39,900

電源ケーブルとインレットの間に挿入するフィルター「フラックス50」は大変よく効くグッズだが、8万円弱と少々値も張る。本機はフラックス50のちょうど半額となる弟モデルである。形式は同じ、コイルとコンデンサーを用いた非常にオーソドックスな高周波フィルターが内蔵されている。コンセントプラグは同社のFI-28としっかりしたもので、ケーブル部もα導体だから伝送ロスは極限まで減らされているといっている。フィルターを内蔵する筐体は特殊な制振樹脂製で、筐体そのものが制振効果を持つ。コネクターと非接触で電磁波吸収体も配されているというから、商用電



人気のフィルターが求めやすい価格で登場 機器内外のあらゆるノイズを遮断する

炭山アキラ Akira Sumiyama

注目のポイント

これだけ効くなら、電源タップのケーブルとインレットの間に挿入してすべての機器に恩恵を与えてやりたくなる。好ましい製品だ。

SPEC

【フィルター部】●筐体:特殊制振樹脂、電磁波吸収材「GC-303」内蔵
【ケーブル部】●導体:α-OCC ●絶縁体:特殊ポリエチレン、テフロン巻ポリエチレン ●シース:カーボンパウダー混入柔軟性PVC、α導体撚り合わせ編組、柔軟性PVC ●インレットプラグ:自社製FI-28(R) ●取り扱い:フルテック株

源そのものに乗るノイズのみならず、外部放射や機械的振動といったすべてのノイズを遮断してやるうという同社の意気込みを感じさせる。
自宅レファレンスシステムで、FI-1と電力線で作ったケーブルとチャンネルバイダーの間に挿入して聴いてみると、ややホコリっぽいかなと思わせた音が見事艶やかでしゃっきりと立ち上がったような音に聞こえ始めた。実にナチュラルで、高解像度だが耳に刺さらない表現である。わが家は電源環境に恵まれた方だと思っていたが、やはり単なる電力線では無防備すぎるようだ。効き目の分かりやすい製品といえるだろう。



FI-11M(R)



FI-11(R)

注目のポイント

効果が高い割に工作はしやすく、自作ビギナーにも安心してお薦めできるプラグである。

SPEC

- ケーブルクランプ部：特殊ステンレス
- 電極部：FI-11M(R)＝純銅+ロジウムメッキ、FI-11(R)＝焼青銅+ロジウムメッキ
- ケーブル適応径：10AWG/5.5SQmm(MAX)
- 取り扱い：フルテック株

電源&インレットプラグ AC&NLET Plug

FURUTECH

FI-11M(R)／FI-11(R)

ともに¥6,615

クランプ部に特殊ステンレスを採用 芯線を強くくわえ、導通面積を高める 炭山アキラ

Akira Sumiyama

驚異的なハイC/Pでならしたフルテックのベストセラー・コンセント&インレットプラグF11シリーズに新タイプが追加された。両端ともボデーは見慣れた樹脂製だが、ネジ止めのホール部分に特殊ステンレス製が採用されている。これにより芯線を強くくわえ込み、導通面積を17%以上も高めている。ホール下部は十分に大きく、5.5スケアの芯線もつなぐことができる。コンセントやインレットへの挿し心地は実にしっとり滑らかで、ブレードの仕上げの良さが手から伝わってくる。自宅レファレンスで3・5スケア電力線に取り付けて聴いた。音が出始めてすぐにはちよっとホコリっぽいかと思ったが、1時間もしないうちに持ち味が発揮されてくる。高域方向に大変伸びやかで、すっきりと晴れ渡ったような音だ。低域は少しスリムだが、使っているうちにどんどん出始めることだろう。

コンセントベース Concert Base

FURUTECH

GTX Wall Plate

¥11,550

分厚いアルミ削り出しベース パワフルさと切れ味が加わる

炭山アキラ

Akira Sumiyama



注目のポイント

他社のコンセントも取り付けられるようにネジが切られているので、試してみるといい。

SPEC

- シャーシ：アルミ削り出し(厚さ13mm)+特殊制振塗装+テフロン製ダンピングシート
- サイズ：86W×135D×13Hmm(-0/+0.3mm)
- 取り扱い：フルテック株

壁付けコンセント周りを頑丈に補強してくれるプレートである。分厚いアルミの削り出しで手に持つとずっしりと重い。単体では鳴かないわけではないが、取り付けるとそれ自体が壁全体を制振してくれるという格好だ。取り付けるには壁に穴をあける必要があり、借家住まいにはそれがかなわないので、MDFでベースを組み立てた自作テーパータップに取り付けてみた。もともと同社のGTXIDを取り付けたところにこのプレートを加えてみたら、タールで澄み切った音場感と低域の通りの良さ、ハイスピードさが印象的なGTXに、パワフルさと切れ味を大きく加えたような表現となった。歪みっぽさが全くないので、安心してポリウムが上げられるようになったのも驚くべきところだ。一般的な壁材は鳴きやすい新建材なので、壁に取り付けるともっと遙かに効き目は高いことであろう。